

自然と歴史、文化を受け継ぐ

山中学区

YAMANAKA



素晴らしい先輩たちに続け!

山中学区で頑張っている子どもたち、素晴らしい先輩たちからメッセージをいただきました。

26 山中 後記

山中小学校バレーボール部

市の球技大会で昭和58年(1983)~63年(1988)まで連続優勝。

つらい練習を乗り越えて

山中小学校
女子バレーボール部主将
6年 竹内 虹音さん
(平成28年度)



去年のバレー部の主将は私のお姉ちゃんでした。お姉ちゃんの姿にあこがれ、自分もチームを引っ張ろうと、主将に立候補しました。主将として、一番声を出してみんなをばげまそうと、がんばりました。多くの練習試合でたくさん勝ったり負けたりして、自信ができました。おかげで、本番の大会は市内ベスト8に入りました。今から30年ほど前の先輩たちほどではありませんが、今まで声をかけ合ったり、たくさん泣いたりしながら、つらい練習を乗り越えてきた成果です。すてきなチームや先生たちでよかったです。

東海中学校アーチェリー部 3年生一同

平成3年(1991)に創設。平成10年(1998)に全国大会優勝、平成24年(2012)のロンドンオリンピックに同部出身の小林(旧姓:蟹江)美貴さんが日本代表に選ばれ、銅メダルを獲得。

点数が出なくてもあきらめないで!

筋トレなど辛いことはたくさんあるけど、乗り越えれば楽しい!

短気な人でもできる! やりがいがあります

集中力が肝心! 一つ一つのことを大切に

コツコツ続けて努力すれば、必ず実る!

メンタルが鍛えられ、性格もおおらかに なります

青山 浩之さん 美文字研究家



昭和43年(1968)生まれ。山中小学校、東海中学校、東京学芸大学大学院修了。現在は「美文字研究家」として書道・書写教育の研究活動や教員育成に取り組み、テレビや雑誌など多方面で活躍している。平成26年(2014)より、横浜国立大学教育人間科学部教授。

歴史の深い山中。温かい人々と自然に育まれた故郷。ここに生まれたことをこれからも誇りに思い続けます。



加藤 英夫さん 名古屋経済大学硬式野球部コーチ



昭和23年(1948)生まれ。山中小学校ソフトボール部、東海中学校野球部から野球の名門、中京商業高校(現・中京大中京高)に入り、エースとして活躍。昭和41年(1966)の春夏の甲子園に出場し、全試合完投、連続優勝。近鉄バファローズに入団。平成24年(2012)より名古屋経済大学硬式野球部のコーチ。

人と人のつながりを大切に!

甲子園では1球投げるごとに初回と思って投げ、力まないように気を付けました。そして人の良いところを見つけて吸収するよう努めました。ピッチャーは自己流ではなく投げ方をきちんと学ぶこと。これが故障を防ぐコツです。自分の意志をはっきり伝えることも大切です。実は私も最初はキャッチャーで、自分からピッチャーをやらせてほしいと監督に頼んだのです。野球を通じて多くのことを学び、いろいろな場面で救われました。あの大記録を達成できたのは良い監督と良い仲間に出会え、チームの和があったからです。学校でも会社でも人の和、人とのつながりを大切にしたいと思っています。



舞木町で加藤投手の優勝パレードが行われた

魅力あふれる「まちものがたり」ができました。多くの皆様の協力に感謝いたします。

〔作成委員会〕 石原敏彌/安藤雅彦/長坂信一/永井利秋/横井弘/岡幸雄/愛知幸一/青山道雄

〔参考資料〕 山中学区百年史/ふるさとやまなか/さらに精進 中京高校100勝達成

〔表紙写真〕 第38回歩け歩け大会(2016年2月撮影) 〔写真協力〕 山中小学校

山中学区の歩み

一八八〇年 ■ 明治 13 額田郡 23 学区第 21 番小学山中学校開校
 舞木・羽栗・山綱・池金の 4 か村が合併し、山中村誕生。
 役場を山中学校校庭に建てる

舞木、中柴地区に電灯がつく(大正 11 年に羽栗、14 年に池金・山綱)
 愛知電気鉄道(後の名古屋鉄道)の愛電山中停留所が開業
 山中村に電話が開設

一九三三年 ■ 昭和 8 花祭りが始まる(↓特集)
 舞木巡査駐在所が開設

一八八九年 ■ 明治 22 舞木・羽栗・山綱・池金の 4 か村が合併し、山中村誕生。

一九二六年 ■ 大正 15 愛知電気鉄道(後の名古屋鉄道)の愛電山中停留所が開業

一九二九年 ■ 昭和 4 山中村に電話が開設

一九三三年 ■ 昭和 8 花祭りが始まる(↓特集)

一九四七年 ■ 昭和 22 舞木巡査駐在所が開設

一九四八年 ■ 昭和 23 山中小学校と改称、東海中学校開校

一九五五年 ■ 昭和 30 山中村役場が舞木稚蚕共同飼育所に移転

一九五六年 ■ 昭和 31 山中村解村、岡崎市に合併

一九五七年 ■ 昭和 32 山中保育園開園

一九六二年 ■ 昭和 37 岡崎東部簡易水道完工

一九六四年 ■ 昭和 39 山中城址が市の文化財に指定

一九六五年 ■ 昭和 40 東京オリンピックの聖火ランナーが国道 1 号を走る

一九六七年 ■ 昭和 42 池金町に美合ゴルフ場(現在の岡崎カントリー倶楽部)がオープン

一九六八年 ■ 昭和 43 山中小学校東側の国道 1 号に歩道橋が完工(昭和 53 年に撤去)

一九六九年 ■ 昭和 44 山中小学校のデンデンガッサリが NHK ふるさとの歌まつりで紹介

一九七〇年 ■ 昭和 45 東名高速道路が静岡 IC から岡崎 IC まで 2 月に部分開通、同年 5 月に全線開通

国民宿舎桑谷山荘オープン(平成 24 年 12 月に閉館)



NHK の視聴者参加型の公開番組「第 90 回ふるさとの歌まつり」に出演。岡崎市民会館で行われた

山中学区の産業
 山中学区は三河山地の西端部に位置し、扇子山や桑谷山など高さ 400m ほどの山々に囲まれています。山綱川・羽栗川・鉢地川・立川の四つの川が流れ、この豊かな川の水を利用して、米や麦、綿、藍などが作られていました。
 明治から昭和の初めには養蚕が盛んに行われました。農家では蚕の幼虫が繭を作るまで育て、その繭がお金になりました。山中小学校の運動場にも「おかいこさん」のエサになる桑の木が植えられていました。
 水に恵まれた山中学区はガラ紡にも適していました。明治 20 年代に舞木地区で山綱川の水を利用した水車ガラ紡が始まり、大正時代には山綱地区、池金地区では鉢地川を利用して水車を回し、糸を紡ぎました。昭和 30 年代の最盛期には計 21 もの紡績工場があつたそうです。
 昭和 40 年代には羽栗町に工場が誘致されます。国道 1 号や東名高速道路などが近く、工業製品の輸送にも便利なことから平成 22 年に山中学区と本宿学区の境に岡崎東部工業団地が造成。平成 28 年には新東名高速道路の岡崎

DATA



人口	4,700人
男性	2,398人
女性	2,302人
世帯数	1,862世帯
面積	15.58km ²

[2016年7月1日現在]



学びと交流の場、東部市民センター。文化やスポーツなどの講座を開いている

明治 39 年に建てられた木造校舎と東側の鉄筋校舎(昭和 42 年改築)が並ぶ(昭和 55 年撮影)



自然観察員に学ぶ



北山湿地の入口

ホタル

山中学区を流れる山綱川、羽栗川、鉢地川、立川ではホタルが飛び交います。平成 20 年からホタルを守るために保護活動を行い、ホタルが育ちやすい環境を整えてきました。



ゲンジボタル(山中小学校 3 年 山宮七歩さん 平成 27 年 6 月撮影)

花摘み遊び

毎年 9 月に山中学区の休耕田にレンゲの種をまいています。翌年 4 月に花を咲かせたレンゲ畑で、子どもたちと一緒に花摘み遊びをします。レンゲの花の冠や首飾りなど、草花遊びを通して自然環境を保護する気持ちを育んでいます。



参道入り口のクスノキ。市指定の天然記念物



山中八幡宮のこもりとした森

山中八幡宮の森はカシヤシイに覆われています。平成 16 年に県自然環境保全地域に指定され、木を切ったり植えたりすることが制限されました。この森には絶滅危惧種に指定されているルリミノキ、オオフユイチゴなどの植物、珍しいヒメハルゼミなどが棲んでいます。



ウィーンウィーン、ジーオジーオ、ジーヤンバーヤン

体長 2.5 ~ 3cm のヒメハルゼミ



山中っ子もレンゲの花が大好き



花かんむりをのせておひめ様に



環境保全活動のみなさんと一緒に

山中学区に棲んでいる 小さな生き物たち

北山湿地

池金町のゴルフ場、岡崎カントリー倶楽部の東、標高170〜190mの尾根の谷間に大小10か所あまりの湿地が点在しています。山ひだから流れる湧水が滞留し、このような湿地になりました。ここにしか生息しない生き物や植物が多く見られることから、平成21年に市自然環境保護区に、平成28年に市天然記念物に指定されました。この豊かな自然を未来の子どもたちに伝えるため、大切



北山湿地の観察会



ナンカイワカガミの群生地



青色の花を咲かせるハルリンドウ



地衣類の一種、コアカミゴケ



可憐なムラサキミカギ草



体長約2cmのハッチョウトンボ。オスは鮮やかな赤色、メスは黄色と黒のしま模様



里山の春の女神と呼ばれるギフチョウ。市内では北山湿地でしか見られない



北山湿地を覆うオオミズゴケ



1 車両を検査して修理を行う名古屋鉄道の舞木検査場。毎年「名鉄でんしゃまつり」を開催
 2 第8回ライオンカップ全日本バレーボール小学生大会で優勝した「山中JVC」
 3 山中小学校の開校100周年記念で完成した遊具「グリーンマウント」。子どもたちの人気の遊び場
 4 池金町のゴルフ場、岡崎カントリー倶楽部の東、標高170〜190mの尾根の谷間に大小10か所あまりの湿地が点在しています。山ひだから流れる湧水が滞留し、このような湿地になりました。ここにしか生息しない生き物や植物が多く見られることから、平成21年に市自然環境保護区に、平成28年に市天然記念物に指定されました。この豊かな自然を未来の子どもたちに伝えるため、大切

- 一九七一年 ■ 昭和 46
- 一九七二年 ■ 昭和 47
- 一九七六年 ■ 昭和 51
- 一九七八年 ■ 昭和 53
- 一九七九年 ■ 昭和 54
- 一九八〇年 ■ 昭和 55
- 一九八二年 ■ 昭和 57
- 一九八四年 ■ 昭和 59
- 一九八五年 ■ 昭和 60
- 一九八六年 ■ 昭和 61
- 一九八八年 ■ 昭和 63
- 一九九六年 ■ 平成 8
- 一九九七年 ■ 平成 9
- 一九九八年 ■ 平成 10
- 二〇〇四年 ■ 平成 16
- 二〇〇八年 ■ 平成 20
- 二〇〇九年 ■ 平成 21
- 二〇一〇年 ■ 平成 22
- 二〇一二年 ■ 平成 24
- 二〇一五年 ■ 平成 27
- 二〇一六年 ■ 平成 28

羽栗団地が完成
 山中八幡宮のデンデンガッサリが市の無形民俗文化財に指定
 山中八幡宮の乱舞面が市の文化財に指定
 第1回歩け歩け運動(現在は歩け歩け大会)が始まる
 岡崎市東部支所・市民センター完工：1
 山中小学校開校100周年記念式典：2・3
 山中八幡宮のヒメハルゼミ生息地が市の天然記念物に指定
 山中城址遊歩道が完成
 市営住宅舞木荘、昭和62年に山中荘が完成
 山中八幡宮のクスノキが市の天然記念物に指定
 舞木運動広場が開設
 山中学区市民ホームが開館
 第8回全日本バレーボール全国大会で「山中JVC」が優勝：4
 山中小学校が全日本健康づくり推進学校「すこやか大賞」を受賞
 舞木町に名古屋鉄道の車両工場、舞木定期検査場(現在の舞木検査場)ができる：5
 東海中学校アーチェリー部全国大会男女アベック優勝、女子個人優勝
 山中八幡宮周辺が県自然環境保全地域に指定
 東部地域福祉センター開館
 レンゲ畑で遊ぶう会が始まる
 池金町・舞木町に岡崎東部工業団地が造成
 県道324号生平幸田線に山中バイパスが開通
 国道473号バイパスが開通
 北山湿地が市の天然記念物に指定

「名鉄でんしゃまつり」で行われる恒例の名鉄電車とのつな引き。さて、勝敗の結果は...



平成28年に山中城址及び遊歩道の環境再整備を行い、城郭各所に案内看板や幟旗を設置した

東ICが完成し、交通アクセスの良いエリアとして期待されています。

「山中」の地名
 「山中」という地名は鎌倉時代から使われていました。室町時代には「山中郷」、江戸時代には「山中宿」と呼ばれ、歌川広重の浮世絵にも、「山中」の文字が記されています。明治22年には舞木・羽栗・山綱・池金の4村が合併して山中村が誕生し、ますます「山中」という地名が浸透していきます。昭和30年に岡崎市と合併し、山中村は解村。町名としての「山中」はなくなりましたが、学校や学区、名鉄電車の駅名は変わらぬまま。歴史の古い「山中」という名は、現在も親しまれています。

歩け！歩け！ ふるさと山中マップ



波で磨かれた獅子岩

- 岡崎カントリー倶楽部
- 獅子岩(しいわ)



山中学区では毎年2月に住民参加の「歩け歩け大会」を開いています。山中小学校を起点に貴重な遺跡が残る山中城址を歩いたり、神社や寺を巡ります。



子どもたちも歩け歩け大会に参加

山中城址を歩く

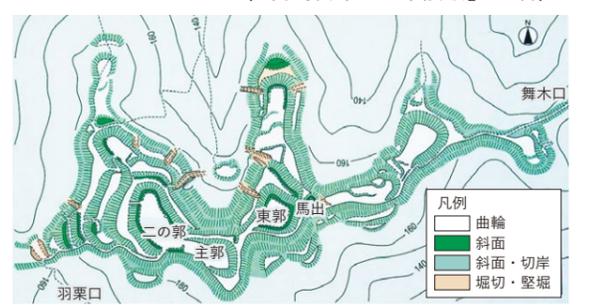
旧東海道を北に見下ろす城山(舞木町字城山)の山頂尾根一帯に築かれた山城。東西400m、南北200mの県下最大級の規模を誇り、空堀や曲輪などの遺構を見ることができません。城山の東と西に登り口があり、山頂までは遊歩道が整備されています。



標高196mの山頂付近に建つ山中城址碑



♪戦雲はらむ三河路を進む八代松平
山中城の武士の攻防すべて今いずこ
是の字の夢を果したる東照君の大偉業
(「岡崎開市450年讃歌」の2番)



山中城址の縄張図。尾根筋に主郭、二の郭などが並列している



家康の父、松平広忠が造営したと伝わる山中八幡宮。田に見立てた太鼓を囲んで歌う



牛役が背負う鏡餅の重さは約60キロ

山中学区の祭りを見に行こう

A 山中八幡宮のデンデンガッサリ

室町時代から続く古式ゆかしい御田植え神事。毎年1月3日の午後2時から山中八幡宮で行われています。五穀豊穡を願い、米づくりの様子を歌や所作で表現します。最初に「デンデンガッサリヤー」と歌い、これが祭りの名の由来。大きな鏡餅を背負った牛役の人が床に倒れると豊作を表し、歓声が沸きます。



B 須佐之男社の天王祭り

毎年7月下旬の土曜日に行われる虫送り行事の一つ。日中は子どもが神輿を担ぎ、夜は火を付けた竿灯行列が羽栗川に沿ってゆっくりと進みます。ほのかに揺れる竿灯は幻想的で、別名「竿灯祭り」とも呼ばれています。



傘梵天に12個の提灯が下がる

C 中柴神明社の秋の例大祭

毎年10月の日曜日に行われます。子どもの獅子舞を奉納し、神輿を担いで町内を練り歩きます。



子どもの獅子舞

花祭り

4月8日のお釈迦様の誕生日を祝う仏教行事で、学区の四つの寺が持ち回りで行っています。花御堂と呼ばれる御堂のなかに小さなお釈迦様の像を置き、甘茶をかけます。



お釈迦様に甘茶を注ぐ



法話を聞く子どもたち



駒ヶ滝



毎年、春に伝道寺の境内でガーデンマルシェを開催

お盆の頃、青木神社の雨乞い神事をここで行っています

家康が上郷城主を攻めるためにここを通った際、馬の足跡が将棋の駒に似ていたことからこう呼ばれるようになりました